

平成21年度第12回理事会議事概要

日 時 : 平成22年3月26日(金) 16:00~16:40

場 所 : 森林総合研究所 特別会議室

出席者 :	理事長	鈴木 和 夫
	理事(企画・総務担当)	福 田 隆 政
	理事(研究担当)	大河内 勇
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	平 野 秀 樹
	理事(業務承継円滑化・適正化担当)	町 田 治 之
	理事(森林業務担当)	山 口 正 三
	理事(農用地業務担当)	角 田 豊
	監事	林 良 興
	監事	龍 久仁人
	監事	山 崎 榮 一
	総括審議役	高 木 茂
	総括審議役	青 木 庸 三
	企画部長	平 川 泰 彦
	総務部長	安 樂 勝 彦
欠席者 :	審議役	富 永 茂

1. 開会

2. 議事

(1) 平成21年度監事監査報告について(研究・育種部門)

(林監事) <資料1-1を説明>平成21年度監事監査(研究・育種部門)については第2回理事会に提出した監事監査計画書に基づき監査を実施したので、その結果を報告する。

対象課題は大きく三点であり、一点目は重点課題2課題(イアa、イアb)についてそれぞれの課題の目標達成に向けた推進体制や推進状況が適切に行われているかどうかを監査した。二点目は契約事務、保有資産の利活用、給与水準の見直し、内部統制、情報公開の各実施状況について監査した。三点目は旧森林総合研究所と旧林木育種センターとの統合によるシナジー効果を監査したものである。

監査結果の具体的内容は資料のとおりであるが、指摘としては 基礎研究分野については、後継者の人材育成と研究の保証、基盤的機器・設備の充実を行うこと、 契約事務に関しては、一者入札が多く見られることから参加要件の再検討、入札公告周知方法の改善、仕様書の見直し、審査委員会による審査などにより、競争性・透明性を確保すること、保有資産については、今後活用の見込みのない試験地(宇治見試験地)について国への返還等対応すること、 給与水準については第3期中期計画や将来の組織計画を構築する中で管理職比率を検討すること、 内部統制については、行動規範の周知徹底等に引き続き努力すること、 情報公開については、ホームページの改良と動画サイトの利用等を検討し、研究成果を幅広くPRすること、 シナジー効果についてはバイオセンターの運営につき、研究資源の再配分も含めた戦略的な検討を行うこと等である。

(鈴木理事長)

「研究部門、育種部門との関係を十分検討、整理」とあるが、具体的な内容いかん。

(林監事)

例えば、支所と育種場との相互関係や西表熱帯林育種技術園の活動内容において、研究と育種事業がどのように協力して一体的に実施していくかなどを検討、整理するものである。

(鈴木理事長)

本件については理事会として了承された。

(2) 平成22年度計画(案)について

(平川企画部長) <資料2-1を説明>独立行政法人通則法第31条の規定に基づき、毎年度独立行政法人が主務大臣に届け出る年度計画の案である。22年度は今中期計画期間の最終年度に当たることから、その点留意して作成している。

(鈴木理事長)

本件については理事会として了承された。

本件の資料については、林野庁の受理状況を確認した後に公表するものとする。

(3) 平成 2 2 年 4 月・研究職員 (任期付研究員) の内定について
(安樂総務部長) < 資料 3 - 1 を説明 > 前回理事会において承認された平成 2 2 年 4 月・研究員 (任期付研究員) 採用については、選考の結果、当初予定通り 1 1 名が内定したので報告する。採用月日は 4 月 1 日付である。

(町田理事)

森林バイオ研究センター配属先の 1 名はつくば、日立のどちらに配属となるのか。

(平野理事)

センター内の森林バイオ第一研究室に配属なので、この場合日立となる。

(鈴木理事長)

本件の報告については理事会として了承された。

次回の平成 2 2 年度第 1 回理事会は、4 月 2 1 日 (水) 開催予定となった。

3 . 閉会